

挨拶

会長 小出 和郎 ((株) 都市環境研究所 会長)

本日、総会で理事に再任され、先ほど理事会で会長に選任されました小出です。よろしく申し上げます。

松田前会長には、副会長を含めて4年、協会の運営にご尽力いただき、2年間会長を務めていただきました。松田さんの会長退任の意向が強く、この度、長く民間プランナーを経験してきた私が会長をお引き受けすることとなりました。また、内田様、佐谷様にも8年にわたり協会に貢献いただきました。みなさまにお礼を申し上げます。

大変な重責を担うこととなりますが、理事各位とともに、国土交通省の方々をはじめ関係者各位のご協力をいただきまして、着実な協会の運営を行ってまいりたいと思っております。

私ども、都市計画コンサルタント、あるいは都市計画プランナーは、都市の計画づくりの実務者集団であります。都市の活力の向上、人々の生活の質の向上について重要な役割を担っています。

都市計画の役割は、時代、社会の変化に応じて変化します。本協会が創立された(昭和48年)頃は、発展する都市をつくり、かつコントロールする計画が求められました。

その後、少子高齢化社会ではコンパクトシティなどの新しい枠組みが示されました。

さらに今はコロナ禍の中で都市像の変化が起きつつあり、従来の都市のあり方が問われています。

新しい課題、テーマは次々に登場します。スマートシティや、そのほかにも「強靱なまち」、「河川とまち」など新しいテーマも出てきています。

当協会では、2013年に策定した「協会ビジョン」において、「コンサルタントの職能確立」、「社会的活動の展開と地域社会への貢献」「そのための組織強化」をあげています。この方針は変化ありませんが、現在、ビジョンの見直し作業も進めています。

さらに、具体的には関連団体の共同で、認定都市計画プランナーの制度化を進めて、目標とした国交省の登録資格とするという大変大きな成果となりました。

さらにejob事業(都市計画優良業務)登録制度も進めています。

都市計画学会、都市計画協会、都市計画家協会の方々に厚くお礼を申し上げます。これらをはじめ都市計画及び関連分野との交流、共同の活動をさらに進めたいと思っております。

最後に、認定プランナー制度を活用した都市計画行政と実務家のコラボレーションの具体化を通じた社会貢献の仕組みづくりを行うこと、そして都市計画コンサルタント協会の世代交代を図ることをお約束して、私の挨拶としたいと思います。

令和3年 6月吉日